

平成 27 年度市自委第 7 号協働パイロット事業

「丸子宿発！語り部マップでまちあるき」業務

特定非営利活動法人丸子まちづくり協議会

1 事業の目的・趣旨

駿河区丸子地区において、地域の方が名所・旧跡を紹介することで、地域の歴史を掘り起し、文化を再発見することで、丸子地区の魅力を次代に伝え、地域コミュニティを確立し、静岡市の人口流出問題の解決の一助とするため。

2 事業概要

- (1) 事業期間 平成27年7月1日から平成28年3月31日まで
- (2) 実施箇所 静岡市内

3 実施日

- (1) 平成27年8月2日(日) 泉ヶ谷・千手観音堂
- (2) 平成27年10月17日(土) 大鑪・誓願寺～丸子城址
- (3) 平成28年2月21日(日) 丸子・宿場祭り

4 実施内容

(1) 語り部MAPの増刷

- ①対象者 丸子地区の住民等
- ②内容
 - ・これまで発行している丸子地区の「語り部MAP」の内容を見直。
 - ・「語り部MAP」の印刷。

(2) 語り部お話会の開催

- ①対象者 丸子地区の住民等
- ②内容
 - ・泉ヶ谷地区の神社仏閣を会場とした。
 - ・地元の老人が「地域の歴史」等について語った。

(3) まちあるき

- ①対象者 丸子地区の住民等
- ②内容
 - ・語り部お話会で登場した場所を実際に歩いた。
 - ・地域の歴史を体感した。

(4) まちのお菓子を楽しむ

- ①対象者 丸子地区の住民等
- ②内容
 - ・語り部お話会を地元のお菓子や丸子紅茶を味わいながら聞いた。
 - ・食を通じ、地元の風土を知ることができた。

※語り部MAP別添

5 実施の結果

- (1) 協働の効果 匠宿での開催は、地域と連携した新しい活用方法であり、大変有効であった。地域住民が同じ地域の一員として匠宿を認知すればさらに良いと感じた。HPでの情報発信は確認できていない。今年度は丸子での活動だったので、他地域での開催を考えると、地元の方との調整があれば大変助かる。

(2) 今後への提言 コミュニケーションがあまりなかったように感じる。こちらからの打診が足りなかった。双方向でコミュニケーションをとり、お互いの役割分担の確認が必要であると感じた。

(3) 参加者の感想

- ・地元なのに知らないことばかりで面白かった。
 - ・今度ゆっくり歩いてみようと思った。
 - ・次も参加したい。
- など全体的に喜んでいただけたようだ。

(4) 協働相手（観光交流課、産業振興課職員）の意見・感想

①観光交流課の意見・感想

今回の取組を通じて、市内外に丸子地区のファンを増やしたり、他の地域へこうした動きを波及させたりしていくために、広報紙への情報掲載や市ホームページ、報道への資料提供等、市から行える情報発信の方法が多数ありますので、今後の活動の際にもご活用いただきたいと考えています。

また、語り部の活動が地域に定着し、外からの観光客にも提供できるようなプログラムになれば、丸子地区を訪れた方の満足度向上に大きな役割を果たせるものと思いますので、定着に向けた取り組みを引き続き行っていただけることを期待しています。

②産業振興課の意見・感想

今年度は2回の事業を協働で行った。日程的な関係から、場所、情報の提供という限定的な協働の形となったが、同事業により駿府匠宿への来訪者も増え、市としては効果があったと考えます。

しかしながら、指定管理制度の中での協働という観点から、主体が市になるのか指定管理者になるのか等、不明確な部分もあることから、今後、市において方針等を定める必要があると思われます。

6 協働・協力機関 観光交流課、産業振興課（駿府匠宿）

7 担当スタッフ

- (1) 柴山（丸子まちづくり協議会）
- (2) 望月（駿府ウェイブ、丸子まちづくり協議会 所属）
- (3) 松川（丸子まちづくり協議会）
- (4) 五味（静岡県ボランティア協会）

担当スタッフに関しては当初大学生チームとの連携を考えていたが、活動する途中から地域内外に協力したいという方が現れたため、その方たちと協力して事業実施した。

①平成27年8月2日 泉ヶ谷にて実施 参加者16名



②平成27年10月17日

誓願寺から丸子城址。その後、丸子カフェ祭りが開かれる駿府匠宿へ
参加者16名



③平成28年2月21日実施

丸子宿場祭り会場 松福園さんにて。ご当主の説明を受ける。その後丸子宿通りを散策。
参加者17名